

## 2019年：バルカーテクノロジーニュース 冬号発刊にあたって



謹んで平成31年新春のお慶びを申し上げます。

皆さまには日頃からバルカーテクノロジーニュースをご愛読いただき、心より感謝申し上げます。

平成最後の年を迎えて、ここ数年の技術環境やトレンドを振り返ってみますと、IoTやAIなどの情報技術の急激な進展や変化が、産業界の提供する価値の本質を大きく様変わりさせました。このように、市場に破壊的変化をもたらしつつある技術的なイノベーションのキーワードのひとつである、「コネクティビティ（繋がり）」の革新技術を活用し、様々な分野や技術を持つ企業同志の共同作業が、オープンイノベーションのコンセプトとともにIT技術を駆使したデジタル空間で実現されるようになってまいりました。

このような、新たな技術革新の波が押し寄せる世界のなかで、創業92周年を迎える本年においては、当社グループは技術開発活動において更なるグローバル化とオープンイノベーションを推進して、当社グループに蓄積された技術ノウハウと最先端技術とを融合し、お客さま視点に立った真の顧客ソリューションがスピード感を持って創生され、顧客の皆さまに対し提供できるように活動を続けてまいります。そして、それらの活動を通して、当社グループにおけるお客さまとのパートナーシップや環境的・経済的持続可能性を見据えた「繋がり」を大事にしつつ、お客さまが真に必要なとされる製品や技術ソリューションを、H&S企業としての活動成果としてお届けしてまいります。

今号のテクノロジーニュースは、当社グループが提供する「カスタマー・ソリューション」の実例、当社グループの技術を紹介する論文、そして新製品紹介という前号から継続された3部内容で構成されております。カスタマー・ソリューションの実例では、当社独自開発のセンシング技術と材料技術の組合せによるシステムにより、船舶機器の異常を検知して「安心・安全」をお届けする保全予知技術の紹介と、当社グループが提供するフランジ締結に関する体験学習装置と学習プログラムでの体験に対するお客さまからの寄稿を掲載しております。技術論文につきましては、大口径フランジ締結体の特性評価、ライニングタンクの加工技術や評価手法に関するテーマを取り上げて、読者の皆さまにご参考いただける技術レビューとすべく掲載いたしました。また、高温蒸気環境下の過酷環境でも優れた特性を示す新材料等、顧客の皆さまにとって今後の製品選定に対してお役に立てていただける情報についても、新製品の紹介として提供させていただいております。

元号の改まる本年も、これまでと同様にこのバルカーテクノロジーニュースを引き続きご愛顧いただけますようお願い申し上げます。

常務執行役員 研究開発本部長 青木 睦郎